

人口総数	45,289	男女	22,661	18,628
世帯数	8,725	出生	2,222	6,503
転入	189	死亡	1,102	3,281
転出	203	計	11,024	41,010
結婚	190	増減	1,102	10,788
離婚	190			

(昭和35年3月1日現在、住民登録による)



(毎月1日発行)

静岡県富士市平垣279番地
発行所 富士市役所
発行人 富士市長 遠藤 治
印刷所 加藤印刷所
No. 57
昭和35年4月1日発行

昭和35年度施政方針



新市第二次建設へ 一般会計予算四億七千万円 三月定例市議会ひらく

新年度予算を定める富士市三月定例市議会は三月八日午前九時召集で開かれました。まず会期は最終本会議の二十四日までの十七日間とこの間、建設、経済、厚生、各常任委員会が開かれ、それ以後に議案二十件が慎重に審議されました。遠藤富士市長は八日本会議のへき頭、昭和三十五年予算に対する施政方針を約四分にわたる大要の通り説明いたしました。

本日は昭和三十五年一般会計特別会計予算を提案するに当り、予算編成の経緯と三十五年施政方針の一端を述べたいと存じます。

私は昭和十九年市長に就任以来七年目を迎えたのでありますが、この間最も苦心いたしましたのは予算の編成であります。申すまでもなく本市の財政計画は、財政の健全な発展を期し、市民の生活の向上を期し、市制施行以来一カ年間の施策の大半がこれに集中されてきたため、市政運営に極めて重要な役割を有するものであります。予算編成に当り、私は慎重な配慮を要するものと認識しております。私は、市長就任以来第七回目の予算を提出するに当り、一層この感銘を深くするものであります。

市制施行以来私は予算編成に当り、入を計り、出を制し、という予算編成の原則を堅持し、財政の健全な発展を期し、市民の生活の向上を期し、市制施行以来一カ年間の施策の大半がこれに集中されてきたため、市政運営に極めて重要な役割を有するものであります。予算編成に当り、私は慎重な配慮を要するものと認識しております。私は、市長就任以来第七回目の予算を提出するに当り、一層この感銘を深くするものであります。

三月市議会日程

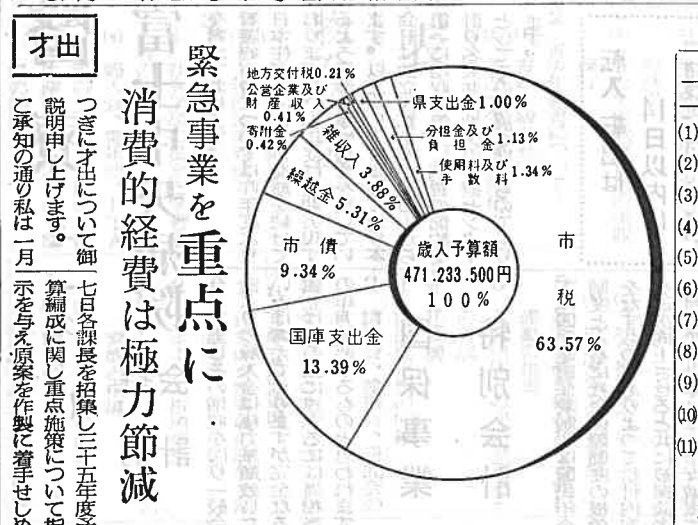
○本会議(八、九、十、十一日)
○建設委員会(十四、十五日)
○経済委員会(十八、十九日)
○厚生委員会(二十二、二十三日)
○本会議(二十四日)

昭和35年度富士市一般会計歳入歳出予算総括表

歳入の部 (一般会計)		歳出の部 (一般会計)		
款	本年度予算額	前年度予算額	本年度予算額	
(1) 市税	299,574,100	224,751,500	(1) 議会費	9,590,400
(2) 地方交付税	1,000,000	15,000,000	(2) 市役所費	55,609,600
(3) 地方公営企業収入	1,924,200	2,813,500	(3) 消防費	8,946,500
(4) 分担金及負担金	5,340,000	382,200	(4) 都市計画費	37,877,000
(5) 使用料及手数料	6,312,900	5,928,800	(5) 都市計画費	97,555,000
(6) 国庫支出金	63,090,200	66,875,100	(6) 教育費	70,814,200
(7) 県支出金	4,726,100	9,370,700	(7) 社会福祉施設費	28,398,300
(8) 寄附金	1,961,000	1,060,000	(8) 保健衛生費	52,238,900
(9) 繰越金	25,000,000	10,000,000	(9) 産業経済費	53,743,400
(10) 雑収入	18,305,000	10,943,800	(10) 財政調査費	2,323,300
(11) 市債	44,000,000	21,000,000	(11) 選挙費	858,100
繰入金	0	449,700	(12) 選挙費	848,800
歳入合計	471,233,500	368,575,300	(13) 公債費	16,132,000
			(14) 支備	35,798,000
			(15) 予備	500,000
			歳出合計	471,233,500

市税収入は約三億円を押える

先づ市税の面から申し上げます。市税の収入は、前年度に比し約三億七千六百五十九万四千四百円を計上し、当初予算総額四億七千二百三十三万五千五百円と相成ります。税外収入に於ける国庫支出金六千三百万円、県支出金四百七十七万円、繰越金四百四十四万円等、これらを含めると、市税収入は約三億七千六百五十九万四千四百円と推定されます。



緊急事業を重点に 消費的経費は極力節減

つきに支出について御七名各課長を召集し、三十五年予算の執行に当り、消費的経費の節減に重点を置き、緊急事業の遂行に努むるべきことを指示いたしました。また、市債の発行に当り、借入利率の低減を図るべきことを指示いたしました。

特別会計歳入歳出予算

特別会計名	本年度予算額	前年度予算額
市立富士中央病院事業	108,545,000	97,998,000
富士市水道事業	31,932,000	91,410,000
富士市国保事業	29,132,000	28,222,400
富士市公益質屋事業	3,854,700	3,818,200
富士市と畜場	2,773,600	2,547,200
合計	176,237,300	223,995,800
一般会計予算額	471,233,500	368,575,300
特別会計予算額	176,237,300	223,995,800
総額	647,470,800	592,571,100

道路舗装を 土木事業

次に第四款土木費について申し上げます。建設関係事業は、本年予算に占める最も重点事業の一つであります。このうち、道路舗装事業は、本市の交通の便を向上させ、市民の生活を向上させる重要な事業であります。本年は、市内主要道路の舗装を完了させ、その他の道路の舗装も進捗を期してまいります。

第二中学校の新設 工費 三千三百万円

第六款教育費については、本年度予算総額の十五、三〇七、七七八円を計上し、これが建設費に工事費に三、三〇〇、〇〇〇円、その他に千三百五十七万四千五百円を計上し、計六千六百五十七万四千五百円を計上いたします。

住宅20戸を建設

第七款社会福祉施設費については、本年は、市内主要道路の舗装を完了させ、その他の道路の舗装も進捗を期してまいります。

今年こそ解決したい 尿処理、下水道問題

第八款衛生費については、本年は、市内主要道路の舗装を完了させ、その他の道路の舗装も進捗を期してまいります。

建設確認申請

建築物を建築する場合は必ず建設確認申請(建築届)をして下さい。

お知らせ
富士市役所の執務時間が四月一日から次の通り変更です。
○始業時間 午前八時
○昼休み 正午から午後一時
○終業時間 午後四時三十分
まこと